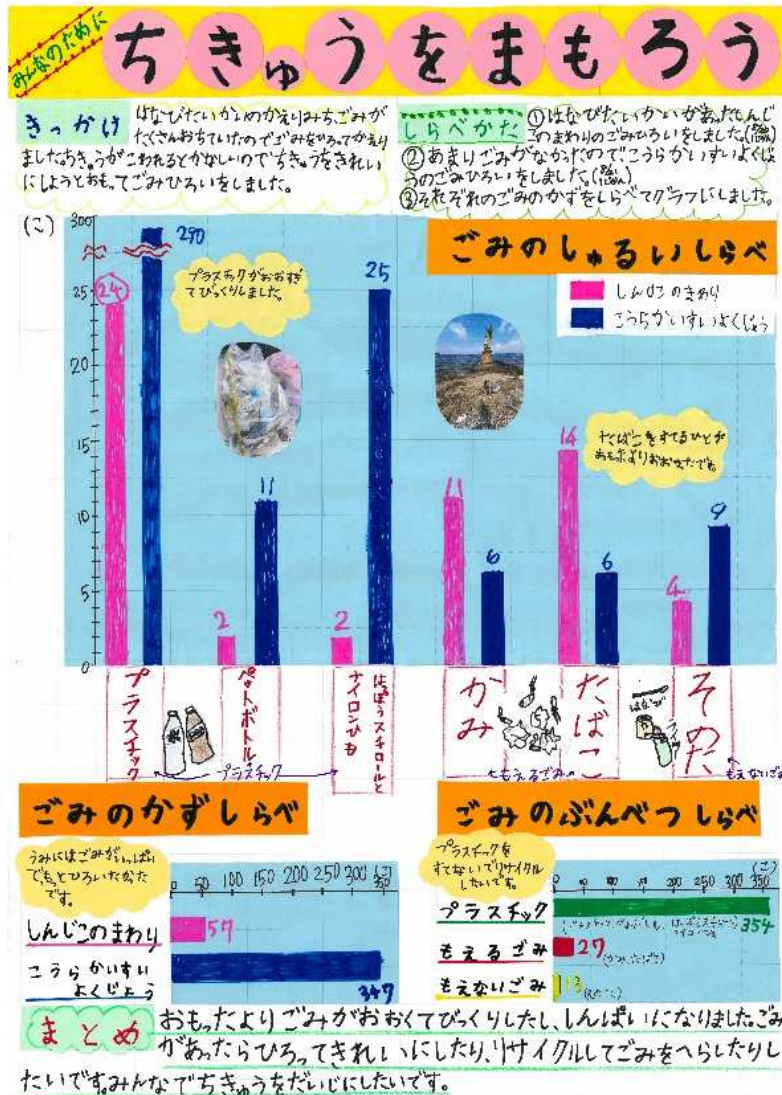


令和7年度島根県統計グラフコンクール 特選作品講評

○第1部 特選



「みんなのためにちきゅうをまもろう」

松江市立津田小学校 1年 領家 千咲

ゴミ問題についての素朴な疑問から、自ら宍道湖と古浦海水浴場のゴミを拾い、分別して調査を行い、結果から気づきを得て、どう課題解決するかをまとめた素晴らしい作品です。

グラフを大きく書くことで、伝えたいメッセージが表現されています。

○第2部 特選



「1番はどの羽根？ペットボトルで風力発電」

島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程 4年 大西 波瑠

ペットボトルを使った風力発電について、自ら9種類の羽根を作り、角度など実験条件を変えて発電量を検証し、丁寧に分析された高く評価できる作品です。

小学校での学びの延長を感じ、見た目のデザインにもこだわった作品です。

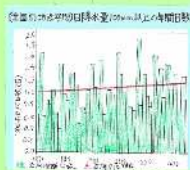
○第3部 特選

稲作の未来のために課題に向き合う

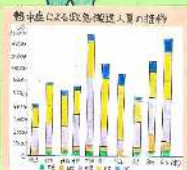
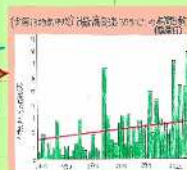
きかけ

祖父は何十年も縮作にたずねられている。苦勞している様子から、ここ数年、米作りにうかがえる。祖父の言葉を参考にデータから米作りをとりまく環境を知る。

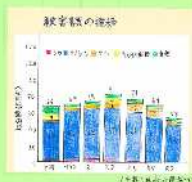
課題1 異常気象



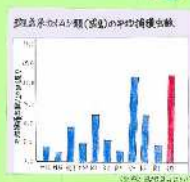
松江市は今年すてに
猛暑日 20日
真夏日 32日
※松江市は今年すてに



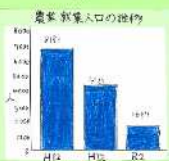
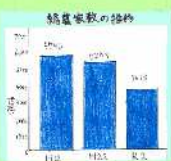
課題2 鳥獸や害虫被害



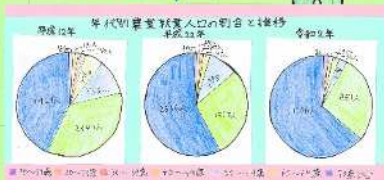
米被害の9割がイノシシ
歩いただけで実いがつき
出荷できない



課題3 農業従事者の減少と高齢化



高齢化が著しい)



まとめ

高温に強い品種改良をすること、鳥獣対策を支援すること、農業を若者でも始めやすいようにすると稲作の未来は変わっていく。

参考文献

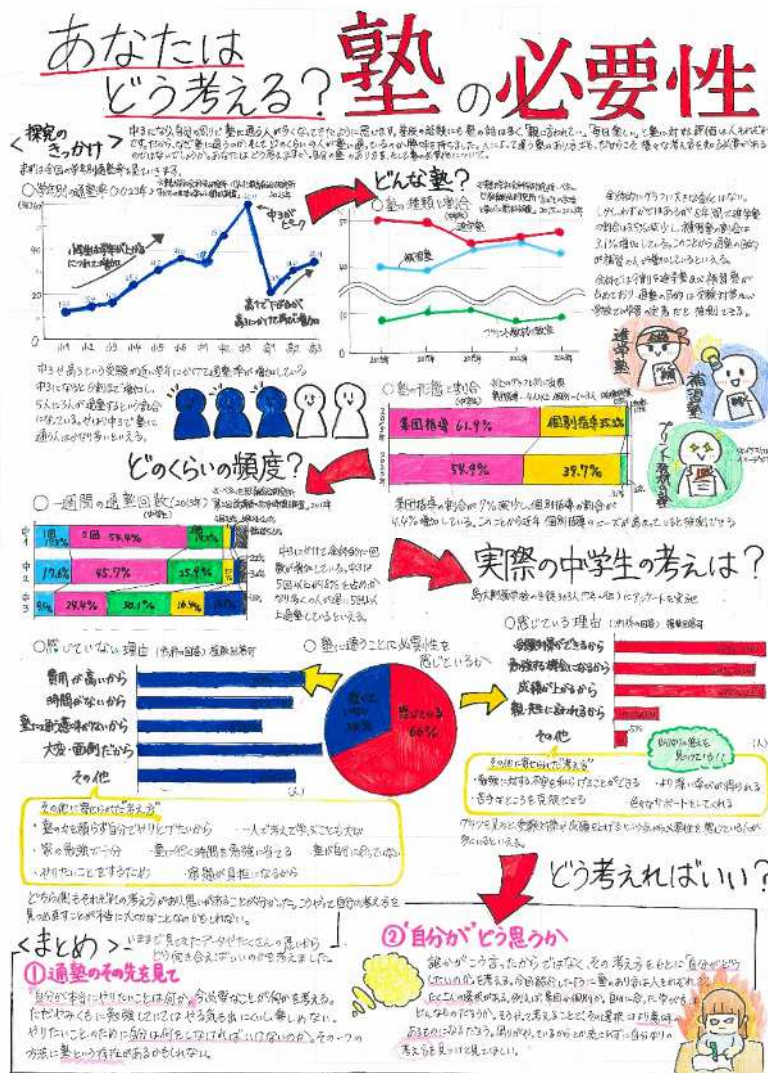
1000

「稲作の未来のために課題に向き合う」

松江市立法吉小学校 5年 青山 陽

最近話題の米問題をテーマに稲作に従事する祖父の話から危機感を3つの視点でデータ収集し、取り組むべき対応についてよくまとめています。

稲穂や猪のイラストが添えられ、難しいテーマを親しみやすく表現した作品です。



「あなたは どう考える？ 塾の必要性」

島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 3年 広瀬 夏鈴

中学生ならではの身近なテーマを題材に、実際の利用状況等を調査し、塾のあり方や必要性を分析し、作者の思いが感じられるメッセージ性の高い作品です。

多くの情報を矢印で見やすく工夫し、丁寧にまとめあげています。

○第5部 特選



島根県の実業製造業の生産性について

松江第一中学校 2年5組
山本 隼輝



①【背景】

最近物価がどんどん上がり、食品の値上げが進んでいる。お菓子一つ齊うにも大層な値段になっている。インターネットで食料品の値上げについて調べてみると、原材料価格高騰、人手不足が取り上げられている。その中で、生産性という言葉がよく見かけた。食料生産性が低いと、生産者の利益が減り、儲け人が減り、結果物の値段があがることにつながるということがわかった。

そこで、島根県の実業製造業の生産性はどうなのか調べた。

④【結果】

- 島根県の実業製造業全体の1人あたりの生産性が1044万円/人で、全国で36位だった。鳥取県は740万円/人で46位だった。
- 島根県の実業製造業の1人あたりの生産性が481万円/人で、全国で一番低く47位だった。鳥取県は681万円/人で32位だった。
- 島根県の実業製造業の従業員数は、全産業に対し13.5%で二番目に多く付加価値額は6.2%で四番目に多かった。
- 鳥取県の実業製造業の従業員数は、全産業に対し22.8%で一番目に多く付加価値額は20.8%で一番目に多かった。

②【目的】

- 島根県の実業製造業の生産性の全国ランキングを明らかにする。
- 鳥取県と全国平均の生産性を比較する。

③【方法】

- インターネットで調べた。政府統計の総合窓口e-Statから、工業統計調査(2020年)の県別データを調べた。
- 食品製造業生産性をみるために、食品製造業の付加価値額(売り上げから原料費、人件費、生産コストなどを引いた値)÷従業員数を計算し、労働者1人あたりの生産性を計算し、多い順から並べた。
- 同じような方法で、製造業全体の生産性を調べた。
- この島根県の結果を全国平均と鳥取県とで比較した。

県	産業	生産性	順位	鳥根の生産性を1とした場合
島根	製造業全体	1044万円/人	36位	1.00倍
	食品製造業	481万円/人	47位	
鳥取	製造業全体	740万円/人	46位	1.41倍
	食品製造業	681万円/人	32位	
全国	製造業全体	1299万円/人	17位と19位の間	1.89倍
	食品製造業	908万円/人	19位と19位の間	




県	生産性	生産性の差額	1人あたりの賃金	1人あたりの賃金の差額	1人あたりの賃金の順位
島根	481万円/人	-	239万円/人	-	47位
鳥取	681万円/人	+190万円/人	252万円/人	+13万円/人	32位
全国	908万円/人	+427万円/人	300万円/人	+84万円/人	19位と17位の間



県	全産業 食品製造業	従業員数	全産業に対する 食品製造業の割合	県内の全産業における 食品製造業の順位
島根	45,887人	33,444人	13.5%	2位
鳥取	33,444人	7,023人	22.8%	1位
全国	3,712,800人	1,192,831人	14.7%	-

⑤【考察】

- 島根県の実業製造業における従業員1人あたりの生産性(付加価値額÷従業員数)の統計結果を見ると、鳥取県より高いのに、島根県の実業製造業における生産性は最下位だった。
- 鳥取県の実業製造業における従業員数の全国順位に対する割合と付加価値額の割合はどちらも1位なのに、島根県は2位と4位だった。1人あたりの給与も全国最下位だった。ことから、島根県の実業製造業は働いている人が多いのにもうかっていないと考えられる。
- 鳥取県と島根県は、場所や年齢層が近いのにこれだけの差が生まれるのはおかしいと思った。何が違うのかは調べていきたいと思った。
- 食料製造業の生産性を高める支援をみんなでたくさんしたいと思った。
- もっと島根県のことを調べてみたいと思った。

県	全産業 食品製造業	付加価値額	全産業に対する 食品製造業の割合	県内の全産業における 食品製造業の順位
島根	45,887人	47,183億円	8.2%	4位
鳥取	33,444人	27,265億円	20.8%	1位
全国	3,712,800人	49,625億円	10.3%	-



「島根県の実業製造業の生産性について」 松江市立第一中学校 2年 山本 隼輝

食品の写真をも3か所に配置し、見た目も工夫した作品です。

隣県や全国と比較することで食品製造業の実情や課題を明確にし、統計分析を丁寧に行い、深く考察された評価のできる作品です。

○第6部 特選



「電気代を安くすることはできるのか」

島根県立松江南高等学校 1年 原 壮良

圧倒的なビジュアルと完成度の高さに目を奪われるような作品です。

膨大な資料を様々な視点から分析し、再生可能エネルギー導入の現状や課題を浮き彫りにし、「電気的地産地消」の提案に導く素晴らしい作品です。